#### 要点の整理(ステップ1 意味段落) 次のア〜シに当てはまる語句をノートに書きなさい。

●次の空欄に本文中の語句を入れて、内容を整理せよ。

(10ページ1行目~11ページ5行目「~にはある。」)

ノルウェーの作家、ゴルデルが「いい哲学者になるためにたった一つ必要なのは、 驚くという〔 ア だ」と言ったの

はなぜか

子供たちにとってはすべてが珍しく、

1

〕の対象

→どこまでも退屈な [ ウ ]が続くとしか思われない日もある十年あるいは十五年もたてば、驚くべきことはなくなるのか

## 第二段落 (11ページ6行目「だが、そんな~」~12ページ1行目「~不思議なのだ。」)

だが、退屈な日ばかりだろうか

- ・体験したこともない自分の感情の揺れに気づいて、ぎょっとする
- ・周囲の人々や異文化などに驚く体験をする

# (12ページ2行目「だけど、そんなことに~」~13ページ2行目「~教えてくれている。・自分と丁寧につき合うことで、自分の存在そのものが〔 エ 〕だと気づく

不思議に満ちた〔 オ 〕にいながら、驚くことをやめてしまった人は大勢いる

退屈な毎日 退屈を紛らせてくれる〔 カ 〕を求める

〕への期待を引き出すかもしれない

→戦争を避けるためには、退屈を積極的に生きようとする〔 ク

### 第四段落 (13ページ3行目「平和な日々を~」~13ページ16行目「~れない。

平和な日々の退屈さに〔 ケ 〕を見いだす 誰もが持つ驚くという才能が大切

→驚きとともに手にした問いを手放さないこと=〔 コ 〕を手放さないこと

二十世紀を生きてきた人間…〔 サ 〕の世紀の言葉と方法で事態に立ち向かおうとする

若い人たち…〔 シ 〕を生き延びる言葉と方法を生み出し得る

# |要点の整理(ステップ2||全体)|| 次のア〜カに当てはまる語句をノートに書きなさい。

●次の空欄に本文中の語句を入れて、全体の要旨を整理せよ。

がやってくる。退屈を紛らせるためにイベントを求める私たちは、「・ウ・・〕への期待を引き子供にとってはすべてが「・ア・・〕の対象だが、やがては驚くことなどなくなり、「・イ 〕に生きるためには、誰もが持っている驚くという〔 オ 〕が大切になる。戦争の世紀と言われる二十世紀を生きる。退屈を紛らせるためにイベントを求める私たちは、〔 ウ 〕への期待を引き出してしまうかもしれない。退屈を 〕な人生が続くとしか思えない日

た人間とは違って、若い人たちは平和を生き延びる〔 カ 〕と方法を生み出し得るはずだ。

#### 要点の整理(ステップ3)百字要約)

●ステップ1、 2を参考にして、要旨を百字以内にまとめ、

#### 内容の理解 次の問いに対する答えをノートに書きなさい。

||筆者が「少しだけ幼い子供とつき合ってみよう。」(10ページ7行目)と述べるのはなぜだと考えられるか。次から選べ。

子供の純粋さに触れることで初心にかえるため。

驚くという感情について改めて考えてみるため

人間はどのように感情を学ぶのかを知るため。 エイ 人生の退屈さを紛らせて刺激を得るため

……私たちはびっくりしてしまう。」(10ページ7~8行目)とあるが、なぜ「びっくり」するのか。

次か

|\_\_「幼い人たちが何にでも驚き、

ア まだ幼い子供たちが、人生に必要な知恵をすでに身につけているのを目の当たりにするから。

これまで気にとめていなかったささやかな不思議に気づき、世界が驚きに満ちたものに見え始めるから。

ウ 子供のうちは誰もが持っている豊かな才能が、大人になると失われてしまうことを実感するから。

エ 成長すると不思議がるようなものも周囲に見当たらなくなって、 驚くことなどほとんどなくなるから。

中 世界の謎を明かしてくれるということ。 エ 世界の秘境に導いてくれるということ。	(13ページ3行目) とは何をさすか。本文中の語句を用いて、簡潔に説明せよ。	<ul> <li>エ 戦争によって多くのドラマが生み出され、英雄も誕生した。</li> <li>ウ 戦争は、人々を熱狂させ退屈から遠ざける最大のイベントである。</li> <li>エ 戦争によって多くのドラマが生み出され、英雄も誕生した。</li> </ul>	② 「退屈を積極的に生きようとする」と同意の部分を本文中から四十字程度で抜き出し、初めと終わりの五字で示せ。 ① それはなぜか。本文中の語句を用いて説明せよ。 【一名れはなぜか。本文中の語句を用いて説明せよ。 【一名れたちに必要なのは、意志かもしれない。」(12ページ12~13行目)について、次の問いに答えよ。	九 「驚くことをやめて、早々と座り込んでしまう」(12ページ目6行目)を言い換えた部分を、本文中より十三字で抜き出せ。	文中の語句を用いて二十五字以内で説明せよ。  (12ページ5行目)とあるが、なぜ「無理はない」のか。本八「ヨースタイン・ゴルデルが、驚くことは才能だと言ったのも無理はない。」(12ページ5行目)とあるが、なぜ「無理はない」のか。本	<ul> <li>エ 驚くとは幼い子供だけが持つ特権であり、大人は驚きたくても我慢すべきだと思っている人。</li> <li>ウ 理由のわからない快・不快を感じている私たちの存在そのものが、不思議に満ちていると考える人。</li> <li>ア いい年をして世界を探検するなど恥ずかしい行為だと考えて、出かけることをやめた人。</li> <li>正「そういう人」(12ページ4行目)とはどういう人か。次から選べ。</li> </ul>	<ul> <li>エ 自分自身がどこまで進歩したいと思っているのかを、冷静になって見つめ直してみること。</li> <li>イ 自分自身を低く評価せず、自らについて掘り下げて考えてみることでいいところを発見すること。</li> <li>一 自分自身で当たり前だと思っていたことを、一度立ち止まって徹底的に疑ってみること。</li> <li>一</li></ul>	ウ 必死で探し求めるということ。 エー信じられないほど不思議に思うということ。 アー驚いて目を見開くということ。 イーまじまじと見つめるということ。	<ul> <li>ウ 年配だと思っていた人が実はまだ若かったことへの驚き。</li> <li>エ 施しをする側がお礼を言うという外国の習慣に対する驚き。</li> <li>ア 親子でありながら理解し合えないことへの驚き。</li> <li>イ 自分より年若い友人の中に老いを見つけた驚き。</li> <li>四筆者が第二段落(11ページ6行目~12ページ1行目)で取り上げている「驚き」の例として適当でないものを次から選べ。</li> </ul>
文中から抜き出して答			© O	0出 也。	無理はない」のか。本				に対する驚き。 から選べ。

[三]「そんな日」(11ページ6行目)とはどのような日か。本文中の語句を用いて二十五字以内で説明せよ。

|十五||若い人たちにこそ期待されていること」(13ページ11行目)とは何か。本文中の語句を用いて二十五字以内で説明せよ。